

短評

27年度1級土木実地合格率は37.5%と昨年比20ポイントダウンの意外な低率となった。選択区分も変更され、選択の自由度も拡大された。出題内容も土工、コンクリートとも基本問題のレベルであった。

残念ながら不合格であった方は、必須の施工経験記述の内容はさることながら、むしろ、選択問題の記述レベル、特に土工、コンクリート工の理論的な理解が十分であったか点検していただきたいと思います。すべて学科試験で問われている内容です（今回は選択区分が広がっただけ、どの問題を選択すべきかという受験テクニクの側面も影響があったかもしれません）。

合格された方、この問題レベルは決して低くありません。堂々の合格です。

過去問題をはじめとして沢山記述練習して臨まれたと思います。やはり、努力は報われます。

■1級実地試験合格率の推移

年度	27年	26年	25年	24年	23年	22年	21年	20年	19年	18年	17年	16年
%	37.3	58.5	35.3	34.6	20.8	18.5	19.5	25.9	36.7	30.7	56.2	66.4

教務